専大スポーツ
●「専修大学」体育会ホームページ●
No.271
http://www.senshu-u.ac.jp/campuslife/sports_info/index.html

漕艇部が地力発揮　渡邉K-1・200メートル連覇

日本カヌーフラットウオーターレーシング選手権

K-2 200メートル　真鍋・和田2位　K-4でも好成績

▶ 健闘したK-4＝カヤックフォア（左から真鍋、渡邉、和田、松田）

日本カヌーフラットウオーターレーシング選手権が9月16日、石川県小松市木場潟湖で行われ、渡邉秀幸（文3・富士河口湖高）がK-1・200㍍で昨年に続き優勝した。

渡邉は「今年も勝つことができ、ほっとしている。来年は3連覇を狙います」と話した。

また、K-2に出場した真鍋達朗（商3・久美浜高）・和田恭平（商2・二本松工高）組が200㍍で2位、500㍍で3位入賞。K-4では松田雄幸（経営3・谷地高）・真鍋・渡邉・和田組が200㍍で2位、500㍍、1000㍍でともに3位と好成績を残した。松田は「最高峰の大会で活躍することができ、うれしい。この結果に満足することなく、来シーズンも良い結果が残せるよう、頑張りたい」と振り返った。

全日本学生選手権　カヤック団体4位　男子総合8位

9月3日、同地で行われた全日本学生カヌー選手権でも松田・真鍋・渡邉・和田組が健闘し、K-1・4×500㍍リレーで3位、K-4・1000㍍で4位に入賞。また、K-2・1000㍍でも真鍋・渡邉組が4位となり、団体ではカヤック部門4位、男子総合8位となった。松田主務は「リレーで良い流れが作れたが、強豪校にはあと一歩及ばなかった。この悔しさを忘れず、来年の大会でリベンジしたい」と話した。

※文中のK-1はカヤックシングル、K-2はカヤックペア、K-4はカヤックフォアの略。

（久田　照喬・商2）

相撲・全国学生個人体重別選手権

蒲田が3位入賞

115kg未満級

全国学生相撲個人体重別選手権が9月21日、大阪府の堺市大浜公園相撲場で行われた。専大から蒲田勝太（商1・専大松戸高）が115kg未満級に出場し、3位入賞を果たした。

1回戦では西日本ベスト8の選手に、続く2回戦は日大・金子に勝利。取組を振り返り「東日本大会で、強い選手という印象を持っていたので、勝てて良かった」と語った。準決勝で惜しくも敗退したが、「緊張せず、思い切りの良い相撲が取れたことが入賞につながった。立ち合いで更に前に出ることが課題だと思う。もっと上位を目指したかった」と意欲を見せた。11月の全国学生相撲選手権について「団体なのでチーム力が大切。先輩たちと力を合わせ、試合に勝ちたい」と話した。

（細田　佳希・法1＝写真も）

▶ 今後の活躍が期待される蒲田

レスリング・全日本学生王座決定戦

大きく躍進　3位入賞

全日本学生レスリング王座決定戦が9月18日、東京都の駒沢体育館で行われ、専大は昨年のベスト8から躍進し、3位入賞を果たした。

1回戦の神奈川大を5―2、2回戦の大東文化大を6―1で破り、順調に勝ち進んだ。準決勝の早大戦は、3連敗と苦しいスタートだったが、74kg級の江藤公洋（経営2・福島高）、84kg級の鈴木聖二（経営2・岐阜工高）が闘志あふれるプレーで勝利し、チームスコアを2―3とし、会場を沸かせた。しかし96kg級で敗れ、最後は120kg級の荒木田進謙（経済3・光星学院高）がフォール勝ちを収めたがあと一歩及ばず、チームは3―4で惜敗した。

荒木田は「今大会は調子も良く、準決勝まで来ることができた。インカレでは負けてしまったが、これからは一つも落とす試合のないよう、頑張りたい」と語った。

▲ 国体初優勝を遂げ、団体でも貢献した荒木田（撮影・植木）

荒木田が初優勝　大分国体

また、大分国体のレスリング競技（9月27日～10月1日、大分県佐伯市総合体育館）フリースタイル120kg級に荒木田（青森県代表）が出場。準決勝を2―1、決勝戦をフォール勝ちし、初優勝を遂げた。

（大津　智世・経営1）

ゴルフ・TOPY CUP日米大学対抗選手権

男子チームが4位

女子個人の木村は8位タイ

TOPY CUP日米大学対抗ゴルフ選手権が9月9日から11日まで、福島県の棚倉田舎倶楽部で開催された。6月の全国大学対抗戦で出場権を得た男子チーム（高橋賢＝経営4・アレセイア湘南高、宮里政志＝文3・鹿島学園高、玉利克幸＝商2・広島県瀬戸内高、黒石雄二＝商2・柳川高、白水将司＝商1・柳川高）が4位に入賞した。

初日、2日目を5位タイで終え迎えた最終日、高橋が68、宮里が66の好スコアをマークし、チームを上位へと導いた。宮里は「みんなが実力を発揮し、来年以降につながる大会になった」と話した。個人でも8位と好成績を残した高橋は「初日は調子が悪かったが、粘りのゴルフで巻き返すことができた。チームも高いモチベーションを保って戦うことができ、満足している」と述べた。

また、女子の個人推薦枠で出場した木村麻希（経済3・明徳義塾高）は8位タイ。「納得いくプレーができなかった」と悔しい大会となった。

▲ TOPY CUPで4位入賞を果たした男子団体のメンバー（左から高橋、宮里、白水、黒石、玉利）

水泳・日本学生選手権＜水球＞

2年連続で4位　シード権を獲得

日本学生選手権水泳競技大会（水球競技）が9月18日から21日まで、神奈川県相模原市立総合水泳場ほかで行われ、専大は2年連続で4位に入賞し、来年度のシード権を獲得した。

今大会は全22チームによるトーナメント戦。シード校の専大は2回戦から出場し、中京大に18―5、続く立命館大にも15―4で勝利。ベスト4入りを果たしたが準決勝で敗れ、日大との3位決定戦に臨んだ。第1ピリオドは2―2と接戦を演じたが、第2ピリオドでリードを許し、第4ピリオドで粘りを見せたが惜しくも7―9で敗れた。

横井翼主将（経済4・富山北部高）は「全力を尽くすことができた。去年より順位を落とさず、ほっとした。さらに良い成績を残せるよう、後輩たちには頑張ってほしい」と話した。

（庄司　亮介・文2＝写真も）

▲ 相手をかわす堀脇千尋（経営２＝中央）

08年男子ゴルフプロテスト

井原さん、勝又さん合格

2008年の男子プロゴルフ最終テストが8月26日から29日まで、岡山県の瀬戸内海ゴルフ倶楽部で行われ、ゴルフ部OBの井原健さん（平14商）、勝又崇之さん（平19経済）の2人が合格した。勝又さんは4日間トータル12アンダーのトップで通過。今後の活躍が期待される。

ゴルフ・関東大学秋季対抗戦

男子3位、女子は4位

ともに信夫杯の出場権獲得

ゴルフの関東大学秋季対抗戦（9月25、26日、こだまゴルフクラブ）と関東女子大学秋季対抗戦（9月17、18日、那須ゴルフ倶楽部）が行われ、男子が3位、女子が4位入賞。ともに10月30日からの信夫杯争奪日本大学対抗戦の出場権を獲得した。

【男子】「初日はグリーンコンディションが悪く、どの大学もパッティングが苦戦する中、うまく対応できた」と宮里が言うように、パッティングがさえ、2位。2日目も4年次生を中心に好スコアでプレーするも、日大に抜かれ、結局2位と2打差の3位で終えた。

高橋は、「2日目に順位を下げたことは悔しい」と振り返り、4年次生にとって最後の団体戦となる信夫杯に向けて「上位に入れるように、あきらめずにプレーしたい」と話した。

【女子】初日を4位で終えたが調子が上向かず、2日目も順位を上げることができなかった。

小川真実主将（文4・堀越高）は「優勝を狙える力を持っていると思うので、この成績は悔しい。信夫杯で、上位を目指して頑張りたい」と強い思いを語った。

（佐山　竜太・経済2）